

人身取引対策推進会議（第12回）

〔令和8年1月16日(金)
10：15～10：30
官邸3階南会議室〕

議事次第

1. 開会

2. 議題

「人身取引対策に関する取組の強化」について

3. 閉会

〈配付資料〉

資料1 「人身取引対策行動計画2022」の概要

資料2 人身取引事案の現況

資料3 近年の人身取引事案

「人身取引対策行動計画2022」の概要

(1) 人身取引の実態把握の徹底

○ 人身取引被害の発生状況の把握・分析

- ・児童の性に着目した営業に係る実態調査、旅券等の留め置きが疑われる事案の調査

(2) 人身取引の防止

○ 入国管理・在留管理の徹底等を通じた人身取引の防止

○ 労働搾取を目的とした人身取引の防止

- ・外国人技能実習制度や特定技能制度の更なる適正化等
- ・体制強化を通じた労働基準関係法令の厳正な執行
- ・技能実習生等の送出国との連携・協力
- ・技能実習制度、特定技能制度の在り方の検討

○ 各種対策

- ・いわゆるアダルトビデオ出演被害の防止及び救済
- ・人身取引の防止のための罰則強化の検討
- ・性的搾取を含めた人身取引の需要側への啓発等

(3) 人身取引被害者の認知の推進

○ 各種窓口の連携による対応の強化

○ 潜在的被害者に対する被害申告先、被害者保護施策の周知

○ 外国語による窓口対応の強化

○ 在外公館等による潜在的人身取引被害者に対する注意喚起

(4) 人身取引の撲滅

○ 人身取引対策関連法令執行タスクフォースによる関係行政機関の連携強化

○ 人身取引取締りマニュアルの活用による取締りの徹底

○ 技能実習生等に対する労働搾取を目的とした人身取引の取締りの徹底

○ 国境を越えた犯罪の取締り

(5) 人身取引被害者の保護・支援

○ 保護機能の強化

- ・男性も含む人身取引被害者に対する一時保護機能の提供
- ・外国人技能実習生に対する実習先変更支援等

○ 被害者への支援

- ・ワンストップ支援センターの体制整備をはじめとする性犯罪・性暴力被害者支援の充実

(6) 人身取引対策推進のための基盤整備

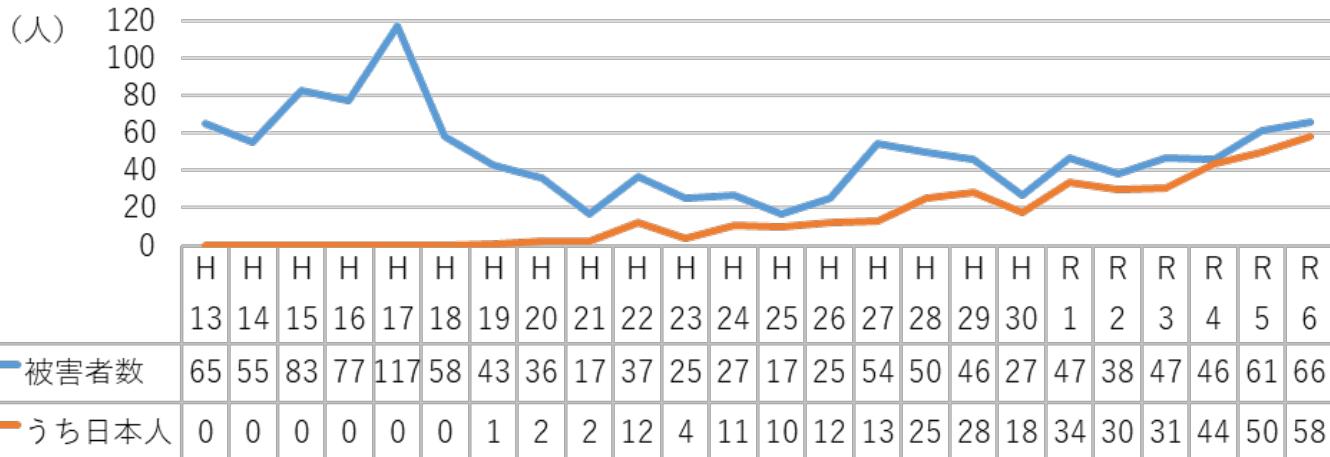
○ 関係諸国や国際機関、民間団体との連携強化

○ 各種広報啓発活動等を通じた国民等の理解と協力の確保

○ 人身取引対策推進会議の開催や年次報告の作成

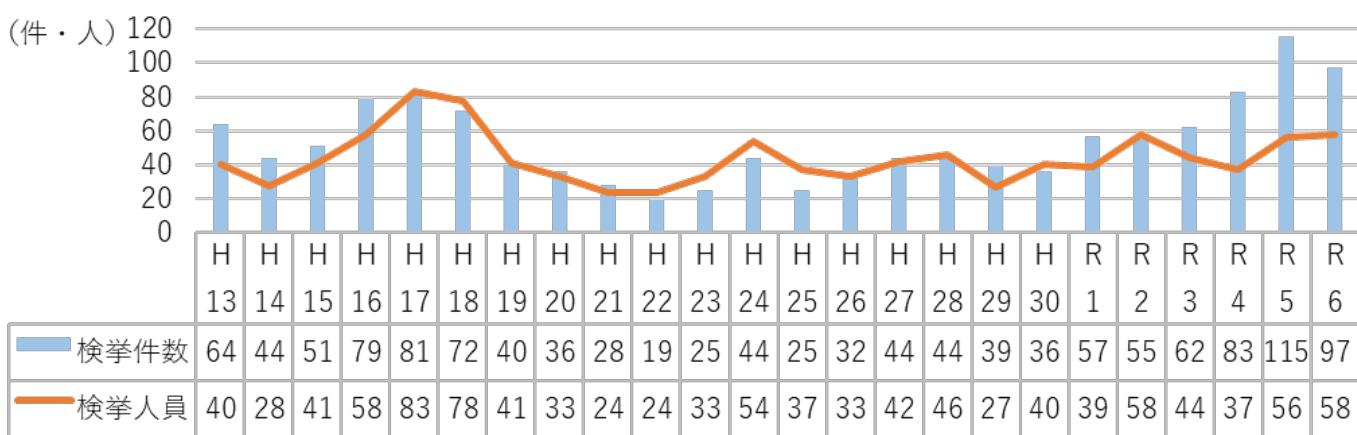
人身取引事案の現況

(1) 人身取引被害者の状況



- 令和6年中、66人を保護（前年比+5人）
- 国籍：日本人58人、外国人8人
- 性別：男性9人、女性57人
- 年齢：児童（18歳未満）が41人

(2) 人身取引被疑者の状況



- 令和6年中、97件（同一18件）58人（同+2人）を検挙
- 国籍：全員が日本人
- 性別：男性51人、女性7人
- 47人を起訴（有罪確定35人、公判継続中12人）

近年の人身取引事案

① 悪質ホストクラブにおける事例

- ホストクラブ従業員の被疑者は、売掛金を回収する目的で、同店の客であった女性に対し、売春をさせるための客待ちを強要したもの（令和6年）
- 当時ホストクラブの従業員であった被疑者は、店での売掛金の返済名目で客の女性に現金を要求し、スカウトマンを介し、ソープランド従業員に紹介して売春をさせたもの（令和6年）

② 外国人が被害者の事例

- 被疑者は、「興行」の在留資格で在留し、資格外活動の許可を受けていないフィリピン人女性らのパスポートを取り上げるなどした上、社交飲食店のホステスとして稼働させたもの（令和6年）

③ 児童（18歳未満）が被害者の事例

- 被疑者は、SNSで知り合ったAが18歳に満たない児童であることを知りながら、Aと買春の募集に応じた男性を引き合わせた上、ホテルにおいて、同男性からAに対して対償を供与させてみだらな行為をさせたもの（令和6年）